

2011年11月30日

外務省日本 NGO 連携無償資金協力「ザルカ県ハシミーヤ市における青少年のための「職業訓練センター」の設立・運営事業」フェーズ1における事業内容説明写真

事業期間：2010年11月14日～2011年11月13日

1. 職業訓練プログラム実施

ハシミーヤ市が管轄する The Modern Village を事業地として職業訓練センターを開校し、各種職業訓練プログラムを実施した。

【PC コース】

ITスキル習得基礎、グラフィックデザイン、WEBデザインの3クラスからなるPCコースを開講。



左：PC講師監督の下、ICDLクラスの事前テストを実施する様子。右：WEBデザインクラスの様子

【英語コース】

参加者のレベルに沿って初級・中級レベルの2クラスを設置し、文法、会話、ライティング、リーディングを組み合わせ、実践的な能力の向上を目指した英語コースを3ターム計6クラス開講した。



左：初級クラスの様子。授業をモニタリングする日本人スタッフ（会計・アドミニ担当堀田）。

右：中級クラスの様子。参加者の質問に対し、講師は丁寧に指導している。

【機械修理コース】

事前テストを実施し、参加者の事前知識レベルを測った上で、携帯電話及びPC修理クラスを3ターム計6クラス開講した。



左：PCパーツに関して説明を行うPC修理講師と、真剣な面持ちで説明を聞く参加者

右：携帯電話修理クラスの実技演習の様子

2. 就業支援プログラム実施

a. 企業訪問

開講コースに関連した企業を訪問し、そこで働く人に業務内容や必要とされるスキル、適性等、仕事についての情報を聞く仕事内容説明セミナーを実施した。

【PC コース：グラフィックデザインクラス】

【英語コース】



左：Al-Zarqa Municipality を訪問し、情報システム部マネージャーより説明を聞く参加者と引率する現地スタッフ（当時のプログラムコーディネーターAyat）

右：携帯電話会社 Umniah を訪問し英語を業務で日常的に使用する担当者から、どのように英語が役立っているか、どうスキルを伸ばしてきたか等の説明をセミナー形式で聞く参加者

【機械修理コース:携帯電話修理クラス】

【機械修理コース：PC 修理クラス】



左：業務内容及び修理に使用しているツールについて説明を聞く参加者

右：PC 修理 Lake company を訪問し、修理に使用しているツールや PC パーツの説明を行う担当者から聞く参加者

b. 就業支援セミナー



c. 女性エンパワーメントセミナー



左：効果的な履歴書の作成方法や面接の受け方を説明する Care International Organization の地域開発マネージャーと、それに聞き入る参加者

右：南シュエナの現地 NGO アルジャワースレの代表による、商品開発及び収入創出活動を継続し社会進出が可能になった経験談をセミナー形式で受講する女性たち

3. 情操教育とリーダーシップ育成プログラム実施

【ストレスマネジメントプログラム】

ストレスに対処し、不安を解消する方法を学ぶ、ストレスマネジメントのワークショップを開講し、就業後も精神的に安定した生活を得られるようサポートを行った。



左上：「好きなことと嫌いなこと」「幸せまたは悲しくなるイメージ」等をテーマとした描画セッションで、説明を受けた後絵を描く参加者

右上：演劇セッションの導入・アイスブレイクにて身体を動かしながら歌を歌う参加者



左：約 300 名の観客で賑わう会場（第 2 回会場 King Abdullah II Cultural Center Theater）

右：男性参加者による演技。日頃の練習の成果を存分に発揮した。

【リーダーシップ育成プログラム】

参加者の中で特に意欲がある者を対象に、インターン生として、センターの運営や各種ワークショップの企画・実施において責任を担う役割を与え、OJT として業務に取り組みせることにより、実践的・実務的にリーダーシップを取る訓練を行う、リーダーシップ育成プログラムを開始した。



リーダーシップ育成プログラム参加希望者がグループに分かれ、与えられたテーマに沿ってディスカッションを行う様子